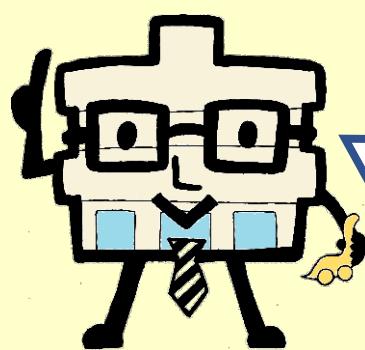
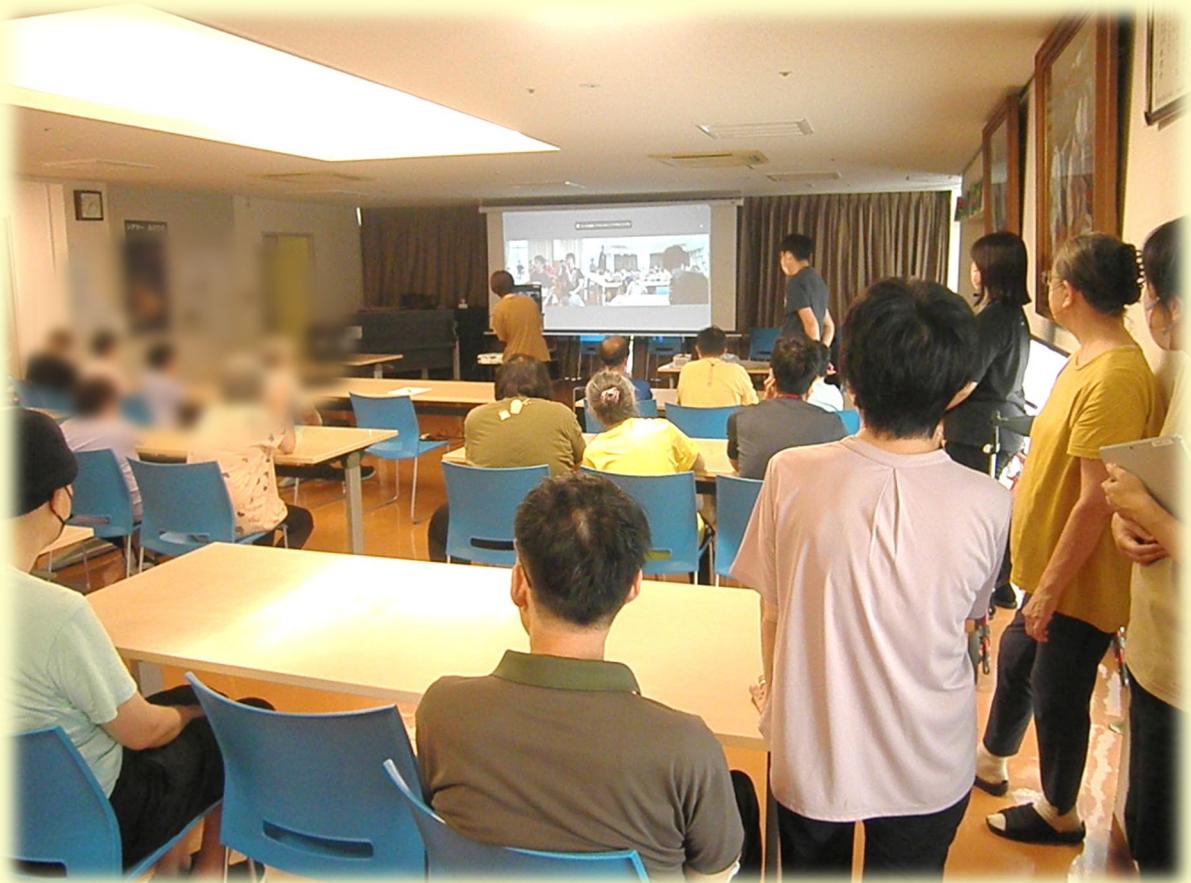


大泉あさひで通信

発行：社会福祉法人 大泉旭出学園 旭出生産福祉園 〒178-0063 東京都練馬区東大泉 7-21-32
TEL : 03-3925-6166 FAX : 03-3925-6169 ホームページ <http://www.asahide.or.jp/>



大利根旭出福祉園と
オンライン交流会を行いました。
詳しくは7ページへ！



戦後80年、これからを考えるために、「これまでを振り返る」 日本の障害児者の教育と福祉

日本の障害児者の教育と福祉

大泉旭出學園理事長

浅井 浩

特殊教育から特別支援教育

戦後の新しい教育制度は、障害児の教育も義務制にして、障害の有無で学校を分け、障害種別に盲学校、聾学校、養護学校（知的障害・肢体不自由・病弱が対象）に区分し、それらを特殊教育諸学校という括りで、そこでの教育を「特殊教育」と称してきましたが、2006（平成18）年に、障害種別の学校の区分をなくして、特別な教育「一ズを抱えるいわゆる「発達障害」を含め、適切な教育指導と支援を行う」という目的で法改正があり、2007（平成19）年4月から特殊教育諸学校は「特別支援学校」に一本化され、特殊教育は「特別支援教育」と改称し、現在に至っています。

障害者福祉施策の進展

障害者福祉の施策が本格的に始動するのも戦後です。それは戦災孤児や貧困家庭の児童や非行児童等への対応が急務であつた1947(昭和22)年に「児童福祉法」の制定で始まり、1950(昭和25)年に「社会福祉事業法」が制定されたことにより、行政の措置として進展しますが、総合的な障害者施策の基盤が整うのは、1970(昭和45)年に「心身障害者対策基本法」が制定された以降のことです。児童福祉法は、児童全般の福祉と心身の障害者(貧困等)

の問題を抱える児童等の社会的擁護をも目的としており、精神薄弱(=知的障害)児の施設が設置されますが児童

知的障害等が対象の養護学校(現在の特別支援学校)の義務制が実施されたのは、新教育制度発足から32年目の1976(昭和51)年4月のことです。それは障害児教育の実績も乏しく、戦後の財政事情等もあり、障害児教育の義務制施行の期日は別に定められていませんでした。また養護学校の義務化に向けた学習指導要領の作成が大変難航したという緯があります。それは知的障害等が対象の養護学校の教育も障害のない児童生徒の学校と同じ教科による教育内容に「準ずる」ことが規定されていたからです。養護学校の義務制の実施が遅れたことや、養護学校の学習指導要領の作成が

難航したという経緯からいえることは、日本の義務教育の制度は、障害のない児童の教育を優先する形で、障害(児)理解が不十分なまま進展してきたということです。

そもそも日本の教育制度は、明治新政府によって国力増強を図る政策として始まったわけで、それは立身出世のための教科学習中心の学力優先、学歴偏重の教育観となつて国民意識の中に根付くことになり、それは戦後的新たな教育法制においても払拭されずにその根底に残されてきたと思います。それはこれからの中学校の在り方や義務教育、障害児教育に関する諸問題を考える上で踏まえておかなければならぬ

い点であり、「インクルーシブ教育」や「共生社会」をめぐる問題を考えることとも無関係なことではないはずです。

■障害者権利条約の批准と現状

1993(平成5)年に「障害者基本法」に改正・改称し、精神障害も法の対象となりました。

1993(平成5)年に「障害者基本法」に改正・改称し、精神障害も法の対象となりました。

戦後の国民生活の変化に伴い、多様化、増大する福祉サービスへの対応を掲げた「社会福祉基盤構造改革」によって、2000(平成12)年6月に、社会福祉事業法は「社会福祉法」に改正改称され、措置制度に代わる契約制度が導入されました。これにより行政の措置として提供されてきた福祉サービスは、サービスを提供する事業者と利用者の契約にもどづく提供となり、そのサービスの利用料を公費

で支援する仕組みの「支援費制度」となりました。ところが支援費の財源問題や制度の不備などから、厚生労働省は、「今後の障害保健福祉施策について（改革のグラントデザイン案）」を発表しました。この改革案をもとに策定されたのが「障害者自立支援法」です。

障害者自立支援法は、障害者の自立生活や就労支援等とそのための財源の確保を目的に制定されたわけですが、障害者の実情を理解したものではなかつたことから、違憲として大きな問題となりました。いわんばこの法律の廃止が明言されたものの、廃止ではなく、法の改正で、法律名を「障害者総合支援法」に改め、現在に至っています。

障害者施策は国の在りようが大きく関係します。今後
の動向を障害者権利条約との関係性を含めて、注視したい
と思います。(令和7年1月15日 大泉旭出学園経営会議資料より)

国際福祉機器展

10月8日、東京ビッグサイトで開催された「国際福祉機器展（H.C.R.）」に参加してきました。最新の技術やアイデアが数多く紹介されており、有意義な時間を過ごすことができました。

会場では介護ロボットや見守りシステム、車イス、リフト、入浴支援機器など幅広いブースでぎわっていました。特に興味深かつたのがICT（情報通信技術）で、利用者の安全を守りつつ職員の負担を軽減させるといったコンセプトの製品が多くありました。中にはすでに福祉園で使われている「眠りスキン」もあり、福祉園にも最先端のものがあるんだ！とうれしい気持ちになりました。

実際に機器を体験できるコーナーも多數あり、触れてみることでカタログだけでは分からない操作感や使い勝手が確認できました。その中で個人的に興味深かつた機器等を紹介します。

「食事介助ロボット」

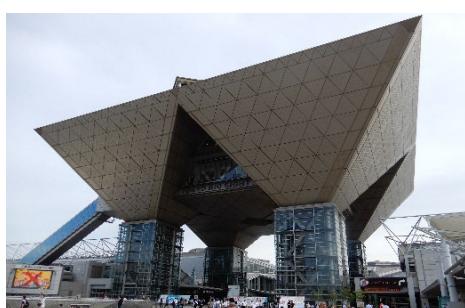
主にALS（筋萎縮性側索硬化症）の方が使用されるようでスプーンをつけてアームがとても滑らかな動きでお皿から食事をすくつてくれていました。ボタンを押すとアームが動くのですがそのボタンにも色々な種類があり、その方の動く部位に合わせてカスタムできるそうです。

「ベッド上で入浴する方法」

シートやついたてなどを活用してベッド上で入浴をする方法を実演していました。とにかく工夫がすべく、やろうと思えばここまでやれるのかと感心しました。

「会議録や議事録をAIが自動で作成してくれるソフト」

ついに時代もここまできたかと思いました。会議の場にパソコンを置いておくだけで自動で記録を作成してくれるソフトだそうです。記録にかかる時間を95%削減してくれるとのことで、純粋にすごいなと思いました。あとは私たちにこれが使いこなせるかどうかですね。



まとめとして、福祉園では利用者の高齢化に伴い、車イスの方も増え、入浴介助や、様々な支援が必要な方も増えてきています。他施設でもそういった話は多く聞かれているなか、各企業の方々が少しでも負担が軽くなるようにと努力してくれていることがうれしくなりました。

今回の展示会を通じて、技術の進歩とともに「より良いケアを実現したい」という多くの人々の思いを感じました。私たち職員も、こうした新しい情報や技術を積極的に取り入れ、利用者が安心して快適に過ごせる環境づくりに努めたいと思います。

（落合）



青葉のつどい

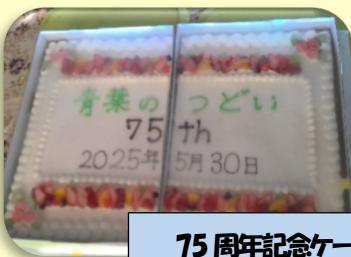


今回の青葉のつどいは、あいにく雨になってしまい、学校と福祉園にわかれてい行い、グループごとにリモートで参加しました。旭出の創立を祝い、三木先生を偲び、発表をしました。その後はみんなで「花のまわりで」を歌い、「あおば音頭」を踊り式典をおさめました。また三木先生について学び、発表をしました。

午後は福祉園食堂にて、あおばフェスタを行いました。アター、三木先生クイズ、ジオラマ作成、75周年記念ケーキで祝いました。初めての試みでしたが利用者のみなさん楽しまれており大好評でした！



製品販売



75周年記念ケーキ



ゲームコーナー



ジオラマ

青葉フェスタでは、委員で旭出学園の創立を祝うというねらいに沿つて内容を考えました。様々なアトラクションや記念のお祝いケーキなど、利用者が楽しめるイベントになつたと思います。今後も今回の様な形がスタンダードになつていくと思います。今年度はその元年として成功だつたと思います。

(花田)

副委員長より

今年度より青葉のつどいが平日開催になつた事で形が大きく変わりました。

青葉フェスタでは、委員で旭出学園

学校と福祉園で共同制作をしました。福祉園では「旭出」のシンボルマーケを貼り絵で作成しました。みんなで一枚ずつ根気強く貼つていき素晴らしいものができました。

75周年記念制作



納涼会

8月24日に納涼会を行いました。

昼食は調理がこの日のために作つてくれたソーキそばとたこ焼き、フルーツポンチと納涼メニューをいただきました。

アトラクションでは盆踊りと模擬店にお菓子くじ引きをしました。

盆踊りでは定番の東京音頭や炭坑節に、アンパンマン音頭やマッケンサンバ、USAなどいろいろな曲で踊りました。職員がマッケンの衣装で登場してみんなで歌つて踊り、大盛り上がりでした。模擬店ではわたあめ作りを体験しました。やつてみると本当に割りばしに少しずつ巻き付いていつて立派なわたあめになりました。はじめてやる時はできるか不安でしたが、意外にきれいにできてびっくりしました。

お菓子くじ引きはひもに繋がつていいお菓子の中身がランダムに入っているお菓子を好みのものを狙つて引きます。

おいしいものを食べて、歌つて踊る、楽しい時間を過ごせました。

夏も後半戦、まだまだ暑い日が続きますが、体調に気をつけて乗り切りましょう！

(本田)



入所棟カーテン

入所棟のカーテンを緑色からピンク色にしました。前のカーテンはだいぶ年期が入つていたので心機一転新調しました。

もともとある家具の色に合わせて統一感を持たせました。こだわりポイントはレースカーテンです。（諸岡）

(落合)



映画鑑賞

8月21日に第2回目となる旭出シアター上映を行いました。今回は「となりのトトロ」を鑑賞しました。

大画面でみる映画はやはり迫力がありますね。ネコバスに乗つてお母さんの病院に行くシーンは抜群の迫力でした。上映後はおやつにスマーチーを食べて余韻を楽しみました。

次回はなにを上映するのか、今から楽しみに待っています。



ものづくり教室

今年は7/30、31、8/7、8に『ものづくり教室』を4回開催しました。地域貢献事業の一環で昨年度より行っている活動です。今回は、色々な端材を使って作るビー玉コロコロと福祉園の製品でもあるタイルコースター、そして、旭出学園特別支援学校の教員でもあります、『新聞紙×ガムテープアーティスト』の関口先生をお招きして行われました。どの回も定員以上に申し込みを頂き、幼児・小学生、お父さんお母さん方と沢山の方が参加してくれました。

工作時間が始まると「このタイルどう並べようか?」と何度も並べ替えて試行錯誤している方もいれば、「ここをノコギリで切りたい、次はこっち!」とさくさく進め、こう来たか!と思わせてくれる作品が沢山ありました。

新聞紙×ガムテープアートでは、自分の好きなものを立体的に作れるとあって、好きな電車やキャラクターなど様々でした。また、参加者みんなで巨大生物を作る時間もあり、そんな中でも子供たちは力を合わせ作り上げる姿に感動しました。

どの作品もみなさんの創造力に圧倒され、更に来年は何をやろうかな~と職員の意欲も掻き立てられました。

約100名の方に参加いただき、終わりには「まだやりたい」「来年も来るね」と言ってくれるお友達もたくさんいて、楽しい時間を過ごす事が出来ました。また来年もお待ちしています! (石川)



関口先生の作品も遊びに来てくれました

大利根旭出福祉園との オンライン交流会

ちでいっぱいになりました。
今後もお互いの近況報告をしましょ
うね！と約束してお別れしました。
(永瀬)

8月に、大利根旭出福祉園とZOOMを使つて、オンライン交流会を行いました。そもそも、交流会を行うきっかけは、「大利根に行つた仲間は元気にしているのかな？」「大泉のみんなに会いたいって思つているかな？」という職員や利用者さんの思いからでした。

会いに行きたいけど、ここから大利根まですぐには行けないし、感染症の心配もあるし、
ならばオンラインで交流しよう！
という意見がでました。



当日は皆で食堂に集まつて、スクリーンの前でドキドキ・・・。職員も、上手くZOOM操作ができるかドキドキ・・。
見事、大利根旭出福祉園の映像が映ると、皆大喜びでした。かわるがわる近況報告をして、お互ひ元氣でいることを確認しました。



オンライン交流会の様子

トウモロコシ迷路で探検！

近隣の農園で行われている、トウモロコシ畑の迷路に、カポックの小枝の皆さんのが参加しました。参加も今年で5回目！年々広くなる迷路を皆で楽しみました。

迷路の他にも、トウモロコシの取り方も教えてもらいました。

Q、みなさん、トウモロコシを収穫するとき、実をどの方向に折るのが正しいか知っていますか？

正しい向きは何番でしょうか？

1, 真上

2, 下

3, 左右

答えは左下に書いてあります。



正解は②です！

後援会「寄付」芳名一覧（順不同）

令和七年四月～令和七年九月末まで

『みなさまからのご支援、協力に
厚く御礼申し上げます』



大泉旭出學園の事業につきましてはご高配を賜り感謝、お礼申し上げます。

特色ある独自性を発揮した事業展開とその充実を図っていくためには経営基盤を固めていく必要があります。さらに多くの方々に後援会の会員になっていただきたく、会員の方々にはお知り合いなどにご紹介いただけたら幸いに存じます。

より一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。



◇編集後記

3年前に胃腸の調子を大きく崩したことがありました。原因を振り返ると忙しさにからめて食事を適当に済ませることが続き、栄養バランスがめちゃくちゃだつたことに気付きました。これではいけないと反省し、食生活を改善しました。毎日水分補給をしつかりとすることと、サバ缶、納豆、豆腐、卵を必ず食べるようになたところすこぶる調子が良くなり、それ以来体調を大きく崩す事はなくいまのところとても元気です。栄養のあるものをきちんと食べることが心身の健康にこれほど影響を与えるとは思いませんでした。おかげで仕事はもちろん筋トレもとてもはかどっています。皆さんもご自身の健康にお気をつけをお過ごしください。

(落合)

◇年間行事予定（10月～3月）

11月22日	勤労感謝祭
12月29日～1月2日	一時休業
1月16日	保護者会